

普仙寺だより

<<

>>

第211号 平成25年5月



平成25年度普仙寺華頂婦人会役員の皆さん
平成25年4月8日、月並法要後撮影

生（い）きる、命（いのち）

「生きる」の「生」という漢字は、本来は「草木の芽が出る」ことを意味します。そのことから、「生まれる」「育つ」「生きてゆく」「生命」の意味になりました。

「命」という漢字は、本来命令する意味の「令」と、「口」から成り立ち、神からの命令、「天命」の意味でした。そのことから、与えられた「運命」「寿命」「生命」という意味になりました。

私たちは父母、祖父母、そして多くの祖先の縁によって「命」を頂きました。頂いた「命」を大事に大切に生きて行きましょう。

華頂婦人会総連盟研修会

去る4月6・7日、知恩院で開催されました、華頂婦人会総連盟研修会に、普仙寺から5名の方が、参加して頂きました。ありがとうございました。



平成25年4月6・7日 総本山知恩院にて
華頂婦人会総連盟研修総会に参加された
山田敏子さん、杉本恵子さん、福井ゆきのさん、白井清子さん、岡田享子さん

住職の短歌

平成23年に詠んだ短歌の続き([前回は24年11月号](#))を掲載します。

落葉の木肌の白さ百日紅君の言葉に我も振り向く

一面のコスモス畑君と行く時の流れを今に留めむ

我を産む五十七年前の母夢の中にてしばし語らむ

冬浅き銀杏落ち葉の道歩く黄色綺麗と君の呼びかけ

福岡の小倉の駅に佇みて今日の葬儀の故人を思ふ

寶典寺吉水光慈上人の声は朗々言は鋭俊

久々に学生寮の先輩と言葉を交はす焼香の後

プラタナス枯れ葉となりて吹かれ行く冬は好きかと君の問いかけ

旅の宿鳥羽の岬の夜明け前西にかたぶくオリオンを見る

山茶花の赤き花咲く冬の道君は笑まひて我の手を取る

子を載せてペダル漕ぎ行く若き母並木の道の紅葉指差す

雲晴れて冬の校庭暖かし袴姿の弓張りの人

野洲川を過ぎればそこは雪景色冬の初めの滋賀の家々

嘉禄の法難、知恩院参拝と選択集拝読案内

嘉禄の法難の発端である嘉禄3年(1227)6月22日、法然上人の靈廟が襲撃されたことに因み、法然上人の著書『選択本願念仏集』を拝読します。

期日

平成25年6月22日(土)

集合場所

豊橋駅新幹線改札前

集合時間

午前7時15分

日程

午前7時24分 新幹線こだま号乗車
午前9時30分 知恩院法然上人御堂参拝
午前10時 知恩院勢至堂参拝
午前11時 昼食
正午 知恩院勢至堂山亭にて『選択本願念仏集』拝読
参加者集合
午後1時 知恩院御廟拝殿にて『選択本願念仏集』拝読
午後3時30分 解散

参加申込

所定の申込用紙に必要事項を記入して普仙寺へお申し込み下さい。

締切

平成25年6月15日までに

交通費

当日、個人で負担して下さい。

参加費

無料

服装

袈裟・数珠

高齢者招待祝賀会

さる4月18日、知恩院の高齢者招待祝賀会があり、神山和子さん、岡田里見さん、岡田さとえさんの3名が参加され、住職加藤良光が御忌法要に出勤しました。



平成25年4月18日 総本山知恩院にて
高齢者招待祝賀会に参加された
神山和子さん、岡田里見さん、岡田さとえさん

寺行事案内

土曜礼拝（どようらいはい）

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

次回からは

- 後編第13章 無比法楽
- 後編第14章 四修
- 後編第15章 日課
- 後編第16章 念珠

花まつりコンサート

平成25年5月12日（日） 午後2時～3時30分

弦楽四重奏の演奏と詠唱

クラシック・ポップラー・唱歌などを演奏し、最後に花まつり和讃を詠唱

月並法要（つきなみほうよう）

平成25年6月8日（土） 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

